

内容:

- ウエディングシンポジウム 2012 報告
- 宴会料飲アンケート集計結果

京滋奈なう

- 京滋奈 B.M.C.

編集後記

全国B.M.C.(全国宴会支配人協議会)からの月1回の通信です。

ウエディングシンポジウム 2012 報告

先日のウエディングシンポジウムの様子がユーストリームでご覧いただけます。

<http://www.wedding-festa.jp/symposium/>

最初に断っておきますが、集客の方法や成約率を上げる方法を語る会ではなく、これからウエディング業界がどうなっていくのかを語る会です。

ここにいるメンバーの多くは、人口推移による婚礼件数の増減は仕方ないが、婚礼をしない層へのアプローチ次第で業界は成り立つもの

だと思っています。

実はシンポジウムに先立って地域サミットというも行われました。

あちこちで〇〇ウエディング協議会が発足していますが、参加企業の温度差がきになります。

協議会は、地域を活性化するのが目的であって、収益が目的ではないということを理解せずに参加する企業が多い。

自社の利益のために、いかに協議会を利用しようかと企みすぎではないか。

協議会はボランティア精

神で参加しなければ本気でやっつけられないと思います。

BMCは料飲に関すること、宴会に関すること、そして婚礼に関することを研究する団体です。

今何もしなければ、BMCという団体の存在価値がないのではないかと。

時代は変革のときを迎えています。

次の世代のためにも我々が道を切り開いていかなければいけない。

全国 B.M.C.会長
伊藤 保

宴会料飲アンケート集計結果

いつもアンケートにご協力いただきありがとうございます。

今回のアンケートの主旨は、フルサービスホテルにおける宴会料飲部門が抱える問題点を見つけ、これからのホテル運営に役立てていただくためのものです。

回答数 55 社。

1. 宴会場の数と婚礼 vs 一般宴会のシェアは関係ないようです。
2. 回答数 48 社、婚礼シェア 0%~30%が 21 社、~40%が 7 社、~50%が 9 社、51%以上が 11 社でした。
3. 悩みは、婚礼件数の減少、価格競争、件人数

の減少、配膳が集まらないが多かったです。

4. 料飲に関する悩みでは、来店数の減少、リピーターの減少、アルバイトが集まらない、人材教育がうまくいかない、計数に強いスタッフがそだっていないが多かったです。

その他フリーアンサーでは、業務内容や待遇面の理由で社員の定着率が悪いというのが多く見受けられました。宿泊部門よりも宴会料飲部門のほうがその傾向が強いです。

近年、ホテルのレストラン

を委託するケースが増えてきました。これは、ずばり儲かっていないからです。ホテルマンはフロントマンだけではありません。サービス技能検定やソムリエを目指す若いスタッフが何故ホテルから離れていくのかも一度考えて見ましょう。責任は上司にあるのではないのでしょうか。

レストランの計数は客単価や回転率だけではありません。もっと数字の面白さを伝える必要があります。

アルバイトが集まらないと嘆く前に、社員の離職を減らすことから始めましょう。

全国B.M.C.会長
伊藤 保

全国 B.M.C.

2011-2012 年度会長

ホテルグランヴィア広島
伊藤 保

〒732-0822
広島市南区松原町
1 番 5 号

TEL:
082-262-1111

FAX:
082-262-4050

E-MAIL:
t_ito@hgh.co.jp

Web サイト

URL:
<http://www.e-bmc.com/>

京滋奈なう

京滋奈 B.M.C.

京滋奈 B・M・C です。京滋奈 BMC は京都・滋賀・奈良のホテル 22 社の会員で運営しております。この各府県の頭文字をとって京滋奈と表記していますが、読み方は“けいじな”となります。言葉で発すると“けいじな？どの地域・・・？”となるのではないのでしょうか？ぜひ皆様に言葉で聞いて頂いてもピンとわかるように、この機会に覚えていただきたいと思えます。さて、この京滋奈 BMC は今年大きな人事異動があり、5 月に事務局長の社内

できるチャペルやパーティ会場など地域色をウェディングに反映させる努力をされていますが、昨今は他地域同様にハウスウェディングの新規オープン・リニューアルや、スマ婚などの低価格の婚礼業態の出現など、マーケットの変化が激しく、加えて営業手法も即決受注（新規来館したその日に受注を目指す手法）が増加し新規来館の回遊が大きく減少していることが、各ホテルの悩みではないでしょうか。京滋奈地区も例外では無く

編集後記

今回のアンケートで、人材教育や人材不足など、人に関する悩みが多くありました。原因はどこにあるのでしょうか。最近、アルバイトの応募に来られる人たちに輝きがないとぼやいているのを聞きました。たしかにそう感じますが、そもそも輝く人が応募するような業界でなければいけないと思います。そのためには、仕事の面白さを教えることが必要です。アルバイ

異動、6 月には会長の社内異動、会計・会計監査も変わるという大きな事態がありました。7 月には残り年度の仮人事を決めて 10 月が新年度となるので総会にて、正式に人事を決定していきます。京滋奈 BMC の活動の特徴は、婚礼を主体に 2 か月に 1 回の定例会の実施です。各ホテルの婚礼部門長が集まり来館の動向や新しい取り組みの意見交換をしたり、地域内のハウスウェディング会場への視察及び例会の開催なども行っています。また京滋奈 BMC の若手が運営するチェンジブライ

各ホテル皆様が本当に苦心されています。この BMC を通じて切磋琢磨しながらも、各ホテルの連携を大切にこの地域のホテルだからということを念頭にアイデアと BMC 加盟のホテルだからこの安心感を集客に繋げていければと思います。京滋奈 BMC は来年度 20 周年を迎えます。この記念すべき年に向けて地域ホテルが連携したイベントをやっていければとプランを考えていきます。また新たな試みとして BMC タイムスで発表できれば

ダルという組織もあります。このチェンジブライダルはハウスウェディングの台頭により、若手の発想でホテルウェディングをもっと活性化させよう（チェンジさせよう）と生まれた組織です。毎月の交流会や婚礼メディアを講師に迎えたトレンドの勉強会など、新たな情報にアンテナを張りながら若手からの新しい発想と若いフタッフの人材育成に取り組んでいます。また会員の各ホテルでもさまざまな取り組みを行っています。この地域ならではの和を感じさせる演出やコーディネート、琵琶湖が一望

と思います。最後に京滋奈 BMC に加盟されているホテルからお知らせがございました。皆様のホテルでは家族婚という言葉をお使いでしょうか？実は京滋奈 BMC に加盟されている琵琶湖ホテル様が登録商標を取っていらっしゃいます。登録商標「家族婚」（登録第 4997584 号）この場をお借りして皆様にご報告致します。

京滋奈 B.M.C.
北川 政彦

演に行かせていただきます。

■「なう」の予定
9 月・・・京滋奈（今回掲載）
10 月・・・中国（次回掲載）
11 月・・・九州
12 月・・・名古屋
1 月・・・北陸

では、中国の瀬島会長、原稿をお待ちしております。

トも含めた、若いスタッフのアイデアを採用する仕組みを作りましょう。そして、輝いているスタッフには、輝きに相当した報酬を与えることです。これからは、若手の時代です。レストランサービス技能検定の受検をバックアップし、席占有率、客単価などの評価指数を教えることも必要です。例会ではそう言った勉強会も開催してみたいかがでしょうか。喜んで講